

Jアラートによるミサイル発射情報が発信された場合の対応について

Jアラートによるミサイル発射情報が発信された場合の対応については次のとおりとしますのでお知らせします。以下の対応方法にご理解とご協力をお願いします。

① 避難行動

- ・屋外にいる場合：近くの建物（コンクリート造り等頑丈な建物が望ましいが、頑丈な建物がなければ、それ以外の建物でも良い）の中、または地下（地下街や地下駅舎などの地下施設）に避難する。
- ・建物がない場合：物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭部を守る。
- ・屋内にいる場合：できるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋に移動する。（教室においては、ガラスの飛散を防ぐためにカーテンを閉め、各自の机を廊下側に詰めて移動させ、机の下で頭部を保護し身を低くすることが望ましい。）

※ 近くにミサイルが落下した場合

- ・屋外にいる場合：口と鼻をハンカチ等で覆い、現場から直ちに離れ、密閉性の高い屋内または風上へ避難する。
- ・屋内にいる場合：換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉する。

② 正確かつ迅速な情報収集

Jアラートの続報、テレビ、ラジオ、インターネットなど、また、学校外では、必要に応じて、付近の大人と協力して情報収集する。

③ ミサイルの落下物と思われる不審な物を発見した場合

決して近寄らず、警察・消防に連絡する。

④ 場合別留意事項（Jアラートによるミサイル発射情報が奈良県を含む地域に発信された場合の対処）

- ・在宅時：速やかに①の避難行動を取る。
情報の収集に努め、Jアラートによる追加情報が「ミサイル通過」または「日本の領海外に落下」となった時点で安全と見なし登校する。
追加情報が「直ちに避難」になった場合は自宅待機（避難行動の継続）をし、学校からの連絡があるまでは登校しない。（特に連絡がない場合は臨時休業とする。）
- ・登下校時：速やかに①の避難行動を取る。
情報の収集に努め、Jアラートによる追加情報が「ミサイル通過」または「日本の領海外に落下」となった時点で安全と見なし登校または下校を再開する。
屋外で①の避難行動を取っていた時は追加情報が「直ちに避難」になった場合は可能な限り近くの建物や地下など安全な場所に避難する。
公共交通機関に乗車中の場合は、当該機関の指示に従う。
- ・在校時：教員や緊急放送の指示に従い避難行動を取る。Jアラートによる追加情報が「ミサイル通過」または「日本の領海外に落下」となった時点で安全とみなし学校活動を再開する。